

【別紙】

## 追加募集対象品種の概要及び申請にあたっての注意事項

### 1. モモ種「ひめまるこ」

(品種特性の詳細は「果樹種苗」第156号、P.6～7を参照)

「紅国見」と「ひめこなつ」の交雑実生。育成地(茨城県つくば市)における成熟期は6月上旬で「ちよひめ」より9日程度早く収穫可能。糖度は13～15%程度で極早生品種としては食味良好な白肉モモ。果実は150～170g程度でやや小ぶり。本品種は、モモの露地栽培における収穫期を早める白肉品種として、特に「ちよひめ」や「はなよめ」の栽培の多い地域での普及が期待。



「ひめまるこ」の果実

### 2. ニホンナシ変種「瑞月」

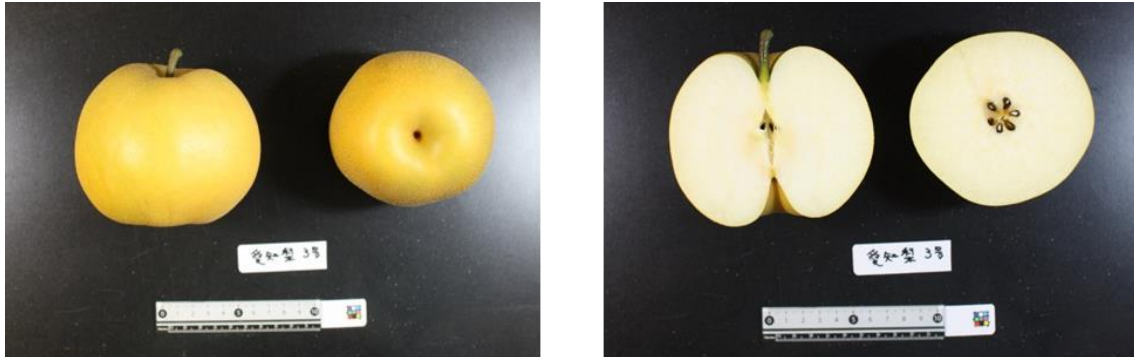
(品種特性の詳細は「果樹種苗」第156号、P.9～10を参照)

#### 注 意 事 項

本品種は、2023年7月31日までの間、種苗の譲渡先が愛知県内に限定され、愛知県外への譲渡はできません(注:種苗の生産は、愛知県外でも可能)。なお、次年度(2020年秋～)における本品種苗木の需要は550本程度と見込まれています(愛知県調べ)。

「なつしずく」と「歎月」の交雑実生。8月中旬から収穫できる早生品種。果実は「幸水」並からやや大きく、日持ち性は「幸水」よりやや劣る。「幸水」に比べて、糖度は

やや高く酸味は同程度。花芽の着生・維持が良好なことから栽培が容易。また、新梢伸長が旺盛なため樹冠拡大が早く、導入後早期の収量確保が可能。



「瑞月」の果実(左:外観、右:断面)

### 3. カキノキ属「輝太郎」

#### 注 意 事 項

本品種の複生母樹用種苗は、「1本の苗木を生産可能な穂木」1本(接ぎ木に適した太さで、1芽又は2芽が着生している枝)を単位として配布されます。このため、申請書における複生母樹用穂木の配布希望数量は、重量(kg)ではなく、本数で記載してください(同封の「輝太郎」用申請書をご利用ください)。なお、穂木の単価は1,000円/本(税別)と高額となりますが、芽の脱落など配布された穂木に瑕疵があった場合は交換可能です。

「宗田早生」と「甘秋」の交雑実生。9月下旬から収穫でき、糖度が約17%と極めて高糖度の甘がき。果実重は300g程度。貯蔵性は「早秋」と同程度の14日程度。果頂裂果、へタスキはほとんど見られない。無核果や種子数の少ない果実では果心部の空洞や空洞部の黒変が散見されるため、受粉樹の混植が必要。



「輝太郎」の果実